

歩ある国立 記立

KUNITACHI・ARUKI

vol.16
2011年秋号

TAKE
FREE

特集: くにたちイタリアフェア
ニャン太のくにたち 東へ西へ
国立ゆかりのアーティスト
みどころマップ
くにたち情報スクラップ

苔むした 桜の木には
きつと精霊が 棲んでいる。
あなたには 見えますか?
不思議の森のフィリップ・ワールド。
——橋大学の森にて



kunitachiaruki present

「国立歩記」vol.16 掲載店より、読者の皆様へプレゼント! ※有効期限は原則として、2011年12月末日まで

デザートセット 650円相当
(お好きなケーキ+ドリンク)
CAFE&BAR ELK (P5)
5名様

くにたち公演
自由席 (2,000円)
大衆演劇 橋菊太郎劇団 (P8)
ペア5組

お買い物・お食事、どちらにも
使える500円割引チケット
ノイフランク (P6)
5名様

更谷いつみさん作 オリジナル
ハットピン ※男性用もお作りできます
更谷いつみさん (P5)
2名様

トマトの中は開いてみてのお楽しみ
びっくりとまと (650円)
さくらさくら (P6)
10名様

「国立歩記」を見たと言うと、
「小麦と塩の生パスタ」1割引
※P8のしゅんかしゅんかにて
11/15(火)まで
亀製麺所 (P3)

[プレゼント応募要項] はがきに、①ご希望のプレゼント名と応募の理由(伝助さんQUIZはその答)②住所・氏名・電話番号・職業・年代を明記の上、③面白かった記事、本誌へのご意見・ご感想をお書きになって、下記までお送りください。
[宛先] 〒190-0011 東京都立川市高松町3-14-13(株)ビックス気付国立歩記編集部「プレゼント」係
[締切日] 2011年11月15日(火)当日消印有効※当選者の発表は商品の発送をもって代えさせていただきます。③のご感想等は、本誌に掲載することがございます。

15号のプレゼントは国立市東のA・S様他33名の方にお送りしました。たくさんのご応募ありがとうございました。

伝助さんの QUIZ でプレゼント!

ウェブサイトからもプレゼント応募可能!

今号の特集でも取り上げたイタリアと国立の関係。
学術や芸術、文化の融合という点でも似ているところがあります。

次の中で歴史の最も古いのはどれでしょう?

- 1、ポローニャ大学 2、一橋大学 3、フィレンツェ大学

クイズの正解をお寄せいただいた方の中から
抽選で5名さまに「くにたちボージョレ・ヴィラージュ・ヌーボー」をプレゼント!

皆様のご応募を心よりお待ちしております。

<http://kunitachiaruki.jp/present>



ウェブからのプレゼント応募は、パソコンならURLを、携帯なら左QRコードをどうぞ(一部の携帯は未対応)。QRコードはデンソーウェブの登録商標です。

おかげさまで9周年		せきやビル FLOORGUIDE	
FLOOR	NAME	TEL	OPEN / CLOSE
7F	多目的ホール せきやホール	042-576-7728	受付 平日10:00~17:00 (利用月~日 9:00~21:00)
	国立楽器 国立音楽センター	042-576-1213	月~土 10:00~21:00(日祝休)
	オープンスクール NHK 学園	042-574-0570	月~金 9:30~17:30 土日 10:00~15:00(祝休)
5F	GEO フィットネス国立	042-580-4538	月~水 10:00~23:00 / 土 10:00~21:00 日祝 10:00~20:00(木休)
4F	塚田農場 国立店	042-580-4502	11:30~14:30 17:00~23:00(年中無休)
	エステサロン さくら	042-572-3000	10:00~20:00(月休)
	幼児教室 ジャック国立教室	042-573-6880	9:30~18:30(年中無休)
3 2 1F	SEIYU 国立店	042-576-2401	24H営業(年中無休)
B1F	SAKE-BOUTIQUE SEKIYA	042-571-0001	[1F] 10:00~21:30(年中無休) [B1F] 11:00~20:00(年中無休)
B1F	トラットリア カルメン	042-501-9245	11:30~23:00(不定休)
	オーリーブオイルと ワインのはかり売り	042-572-4741	11:00~20:00(年中無休)

第二せきやビル&シェ・ルイ

タリーズコーヒー 国立店	042-501-0336	月~土 8:00~22:00 日 8:00~20:00(定休日なし)
ブーランジェリーカフェ バンブー	042-577-5168	火~日 10:00~19:00(月休)



歩ある国立
記立

vol.16 TAKE
FREE

2011年秋号

2011年10月15日発行
(季刊年4回・無料)

印刷・発行/
株式会社ビックス
〒190-0011 東京都
立川市高松町3-14-13

KUNITACHI・ARUKI

企画・制作 国立歩記 編集部
Logo Design 関 敏(石の彫刻家)
Editor&Writer 田中えり子
松本 陽/街サイコム
細田真吾/株ビックス 菱沼勇介
鈴木三和 両角晴香
Design 国立圖案室+坂東真奈
表紙の人 フィリップ・ジョルダノ

くにたち イタリアフェア 2011

26日・27日以外は参加無料

11月23日(水・祝) エソラホール

14:00~15:00

「歳をとらない時間・イタリアの
スローライフ、スローフード」

講師:西村暢夫氏

15:30~16:30 トークセッション

フィリップ・ジョルダノ氏 &
ガブリエレ・レバリアーティ氏
(中央大学大学院)

11月24日(木) 15:00~16:30

「健康の秘訣・オリーブオイル」

講師:松生恒夫氏 (松生クリニック院長)

「新オリーブオイル健康法」など著書多数

11月25日(金) 18:00~18:30

「カンツォーネの夕べ」

オペラ歌手 隠岐速人氏

11月26日(土)

13:00~15:00

親子アートワークショップ
by フィリップ・ジョルダノ氏・
大谷和彦氏(くにたち桜守)

(定員10組 参加費:親子で@1,000円 要予約)

[同時開催展示]

◆日本・イタリア桜の交流

両国の文化交流としてイタリア各地に
植樹された国立の桜。その報告と展示。

◆市内イタリアマップ

国立のイタリアを旅するマップ。市内で
イタリアの風を感じるお店を紹介する。
会場でも配布。

11月27日(日) 兼松講堂

14:00 開演

バロック・オペラ「ポッペアの戴冠」
(詳細はP7をご参照ください。)

主催:くにたちイタリアフェア実行委員会
(委員長 西村暢夫)

協賛:国立せきやビル/イタリアに日本の桜を植樹
する会/国立文流/ラビアート(六本木)/ボラン
ティアチーム・如水コンサート企画/国立歩記
後援:在日イタリア商工会議所/国立市/国立市観
光まちづくり協会/(財)くにたち文化・スポ
ーツ振興財団 ほか

[問]TEL:042-575-6345(田中)
e-mail:italy.kunitachi@gmail.com

食卓で人は歳をとらない

西村暢夫さん

Nobuo Nishimura

株式会社文流会長。『伊和中辞典』(小学館)編
集委員。著書に『バスタ手打ち道』(雄鶏社)
『イタリア食文化の起源と流れ』(文流)など。

イタリア書籍の輸入・翻訳をはじめ、シ
エナに料理学校を設立するなど、イタ
リアの研究家としても活躍されている
西村さん。

「イタリアには A tavola non
s'invecchia mai (食卓では人は歳を
とらない)」ということわざがあります。家
族や友人と食事をともにする喜びを表
現したもので、同時にその食事は「健康
の源」という、イタリアに古くから伝えら
れている思想もこめられています」



「リ스토랑テ 国立文流」 P06/MAP・3

フェアの期間中、イタリアの名作『ピノッキオの冒険』
に出てくる料理を家族団らんメニューとして特別提
供。1人前3,500円、2人前以上・要予約。お話を絵
物語にした展示も。

国立市東1-6-30 パティオマグノリア1F
[TEL]042-571-5552[OPEN]昼11:30~14:30
夜17:30~21:30(L.O)[定休日]水曜、年始

国立の桜がイタリアに!

渡部宣子さん

Junko Watanabe

「イタリアに日本の桜を植樹する会(略称 日伊桜の会)」会長。
国立市中在住。

かつてフィレンツェで日本料理店を営ん
でいた渡部さん。さまざまな日本文化を
紹介してきたが、イタリアへの恩返しに
と、桜の植樹を思いつく。それから10年
あまり、桜の種をイタリアに運ぶことが
できたのは、2008年夏のこと。

「半分以上が国立の桜で、桜守の大谷
さんにも、とてもお世話になりました」
種から芽がでるのは、せいぜい1割とい
われる桜だが、4割近い1000本も発

今回のイベントでは、そうしたイタリアの
スローライフやスローフードの本質につ
いて、お話を聞くことができる。
「今、イタリアでよく食されるフダン草を、
国立農家の北島勝俊さんに栽培して
いただいています。いつかイタリアと国
立の農業交流ができればいいですね」
国立産のイタリア野菜は、フェアの間、
国立文流のメニューに登場する予定。



芽。600本はフィレンツェ、シエナ、ピス
トイア、ルッカ、ポローニャ、パルマなど
各市の公的機関に寄贈された。なかで
もサンマリノ共和国ではこの4月、政府
高官が参加するなか、東日本大震災の
被災者への黙とうとともに、安藤大使
の手で厳かな植樹祭が行われた。
「あきらめずに努力すれば、夢は必ず叶
う。桜が日伊の子どもたちの交流の懸
け橋になると、うれしいです」

くにたち 2011 イタリアフェア

11.23 - 27



「アートと食」をテーマに
イタリアと国立をつなぐ5日間。
フィリップ・ジョルダノさんの絵画展を中心に、
イタリアに学び、最終日には兼松講堂で
バロック・オペラも堪能できる
国立ならではのお楽しみ。
どうぞおでかけください。



- 1.『竹取物語』(La Princesa Noche Resplandeciente)。受賞をきっかけに日本に滞在して取材、制作した新作絵本。自由な解釈によって生まれた新しいかぐや姫。スペイン語版。
- 2.『まっくらくろのおばけちゃんのぼうけん』アヴィッド・カリ著 フィリップ・ジョルダノ画(岩崎書店刊 ¥1,575)
- 3.『私の好きな日』和田まさ子著 フィリップ・ジョルダノ装画(思潮社刊 ¥2,100)

※ブックフェアとスペインのSM財団によって、ポローニャ展入選者のなかから35歳以下のイラストレーターを対象に創設。
入りのキャラに出会えるかも。

新作絵本のかぐや姫も不思議な魅力で語りかけてくるが、ほかにもたくさん
の精霊たち(S.M.I.)が、彼の世界のあち
こちから顔を出す。展示会場ではお気に
かきたてられます」
新作家のかぐや姫も不思議な魅力
で語りかけてくるが、ほかにもたくさん
の精霊たち(S.M.I.)が、彼の世界のあち
こちから顔を出す。展示会場ではお気に
かきたてられます」

「イタリアでは宮崎駿がとくに人気があ
つて、僕も大好きです。去年初めて日本
に来て、たくさんの伝統的な模様や複雑
な色づかいがあるのを知りました。どれ
も刺激的で創作のインスピレーションを
かきたてられます」
「イタリアでは宮崎駿がとくに人気があ
つて、僕も大好きです。去年初めて日本
に来て、たくさんの伝統的な模様や複雑
な色づかいがあるのを知りました。どれ
も刺激的で創作のインスピレーションを
かきたてられます」



Italia fier Kunitachi

11月23日(水・祝)~26日(土) 11:00~19:00

「森の精霊たち フィリップ・ジョルダノの世界」
@国立せきやビル7階 エソラホール P06/MAP・1

11月27日(日) 14:00~

「バロック・オペラ ポッペアの戴冠」
@一橋大学兼松講堂 P06/MAP・2

フィリップ・ジョルダノさん
Philip Giordano
ヨーロッパで注目の若手イラストレーター。
父はスイス人、母はフィリピン人、イタリア国
立・府中市の留学生・ガブリエレさんとともに、
国立・府中市の一年間滞在中。国
立との縁から今年は「2011くにたちポー
ジョレヴィアージュヌーボー」(11月17日発
売)のオリジナルラベルを描画。
<http://www.philip-giordano-pilipo.com/>



不思議の森の精霊たち





やました ようすけ
山下 洋輔
ジャズピアニスト

国立音楽大生だった頃からの国立とのご縁。「SO-ZO 国立2007」(国立市制施行40周年記念芸術祭)では、じつに30年ぶりに兼松講堂に。そしてこの秋、5回目の「国立パワージャズ」のトリとして戻ってくる。フリーフォームのジャズの先駆者としてより、最近では和太鼓やクラシックなど異ジャンルとの共演が注目をあびてきた。「面白いことが大好きで断れない」からあちこち乱入。それもこれもつまりは「自分のもっている器を最大に活かす」ためだそう。そうなんだ。違うものと出会うと自分がよくわかる。

超エネルギー感なのに、ときに繊細で心に残るその音色、きつと貴方もシビれます。山下洋輔トリオ on パワージャズ、ご期待ください!

(写真上)国立音楽大学招聘教授。数々の著作で名エッセイストとしても知られる。

(写真右)「ディライトフル・コントラスト」山下洋輔ニューヨーク・トリオ with 金子飛鳥ストリングス(ユニバーサル)定価 ¥3,000



最新アルバム

国立パワージャズ 2011

～人のチカラ まちのチカラ 音楽のチカラ～

2011年11月13日(日) 15:00～19:00

メインステージ: 兼松講堂 (14:30 開場)

◆ 第1部 (15:00～)

寅カルテット (山下洋輔の仲間も弟子も)

林栄一/as スガダイロー/p 安東昇/b 外山明/ds

◆ 第2部 (16:30頃～)

三宅伸治 deluxe BAND (忌野清志郎ゆかり)

三宅伸治/vo.g 高橋"Jr"知治/b 大島賢治/ds

厚見玲衣/key 梅津和時/as 片山広明/ts

◆ 第3部 (18:00頃～)

山下洋輔 special トリオ

山下洋輔/p 竹内直/sax 江藤良人/ds

チケット/一般前売 3500円、当日 4000円
学生前売 2500円、当日 3500円

[取扱] NO TRUNKS、国立楽器国立店、白十字、国立地球屋、とれたの[ローソンチケット]0570-084-003
[Lコード:77710] 店内Loppiでも直接購入可

[問] NO TRUNKS(村上)
090-1768-5128(13:00～18:00)、042-576-6268
(18:00～24:00) powerjazz2011@hotmail.co.jp

[主催]一橋大学 MusiA(ミュージア)
http://kunitachipowerjazz.web.fc2.com/

P06/MAP-8

ピックアップ 国立ゆかりのアーティスト

No.4

せきた たかまさ
関田 孝将
造形作家

気に入った家具を一生大切にするのは理想的だが、飽きず使える満足感を得るための要素を、造形作家の関田さんは「つくり手を感じることが重要」と語る。「量産品は人がつくっているところを想像できない。僕の家具は意図してゆがませたり、鉄の溶接面を見せたりしていますが、愛着を持ってもらっています」。武蔵野美術大学を卒業後、木工工房、塗装屋、造型屋などで技術を磨き、木、鉄、ガラス、プラスチック樹脂、銅版など、さまざまな素材を操って作品をつくる。現在ではイス、テーブル、棚、看板、什器などのオーダー制作のほか、店内内装といった空間設計の仕事も。「手の跡を大事にしたい、人がつくる意味がそこにあります」。工房を構える立川の「石田倉庫アトリエ」では10月29日～30日にオープンアトリエが開かれるので興味のある方はぜひ。

[関田孝将]http://sekita-w.com/



たけだ かい せいりょう もとぎ
武田 海/西海 元樹
アーティスト/造形作家

大学通りのイチヨウ並木を見下ろすロケーションにあるアートクラス「絵のうつわ」。東京芸術大学卒業、スペインで現代美術活動をしていた武田さんと、多摩美術大学・ヨーロッパ・京都でアート活動をしていた西海さんのアート教室だ。生徒は絵画や造形から今、興味関心のあることを選ぶ。大人も子どもものびのびと楽しそう。「OL、主婦、小学校の美術の先生が来てたり。電車で一人で来る子もいます」と西海さん。大人も子どもも相互に影響を受けられる、作品を通したボーダレスの空間を感じられる。西海さんが書いた和紙に生徒の銅版画を載せた「2012手書き凹凸カレンダー」4,000円は「絵のうつわ」の集大成。秋のお祭り天下市の最中にアートカフェ開催。

[絵のうつわ]http://enoutsuwa.com/ P06/MAP-6

まるやま まさたか しの
丸山 晶崇・糸乃
グラフィックデザイナー/イラストレーター

丸山さんはロゴやビジュアル・アイデンティティなどを手がけるグラフィックデザイナー。BOOK&CAFE「国立本店」店長でもある。月2回、肩の凝らないデザインのワークショップを開催するなど、国立本店は「街に開かれた場所」になっている(10月は29日・30日)。奥さまの糸乃さんは文房具や装丁を手がけるイラストレーター。「花鳥風月を自分なりに解釈して描いています」という可憐で美しい花の絵は「ゼクシィ」別冊付録(首都圏版2011年8月号)などを彩る。手がけた書籍は増田書店、東西書店ほか全国の書店に並ぶ。「国立は好きなまち」という二人の絵は「くにたちカルタ」(国立市社会福祉協議会制作)にも。

[丸山晶崇]http://www.circle-d.me/[糸乃]http://sino.fem.jp/[国立本店]http://honten.chub.jp/ P06/MAP-7



青柳の工場は300坪の土地に建つ。生中華麺ならなんでも作れるという。

ニヤン太のくにたち 東へ西へ

「亀製麺所」

P06/MAP-4

国立唯一のラーメン工場。美味しさ続くよ、めんめん

「おやじさんのラーメンは、本当にうみやあニヤ。なにより麺が違うニヤ」
「わかつてるじゃねえか。亀製麺の麺だからな」
「亀?縁起のいい名前。しかも国立にあるって?」
「そこニヤン太は、青柳にある亀製麺を訪ねた。」
— あれ、住宅街の真ん中に工場があるよ。
玉澤社長(以下、玉)「建てた当時はあたりは畑ばかり。富士見通りに販売店がありました。現在は昭和52年に建てたこの新工場に製造に専念しています」
— 「亀」って面白い名前だね。
玉「創業者である母の旧姓、「亀岡」からきています。母は函館の親戚の製麺所で技術を学び、開業しようと東京に出てきた。で、中央線でたまたま下車した街が国立だったんです」
— 社長は2代目なんだ。
玉「大晦日もそばをつくるので大わらわ。若いときは、年の瀬まで忙しいこんな商売、絶対継がないぞ、と思っちゃった(笑)。継いでからは大手麺メーカーの下請けなどをやりながら会社を大きくし、今はラーメンチェーンや「らでいっしゅばーや」などの宅配事業者とも取引をしています。1日に約2万食つくりますよ」
— えっ、そんなに!
玉「今は9割がラーメンです。ラーメンと言っても千差万別。太さやコシ、色、味、みで、どんな麺をつくるの?」
— 国立で半世紀も続く亀製麺はまだまだ成長中ってことか。
— なんだかまたラーメンが食べたくなってきたニヤ
— 国立で半世紀も続く亀製麺はまだまだ成長中ってことか。
— なんだかまたラーメンが食べたくなってきたニヤ
— 次は何に挑戦するの?
玉「来夏は冷麺に挑戦するつもりです。あのコシを国産材料で表現できるかどうかやってみよう」
— 麺づくりって面白いニヤ!
玉「そうなんです。ラーメンほど変化に富んだ料理はなかなかない。つけ麺だって今やすっかり定着しましたよね。ラーメンのポテンシャルは無敵大なんです」
— 来夏は冷麺に挑戦するつもりです。
玉「来夏は冷麺に挑戦するつもりです。あのコシを国産材料で表現できるかどうかやってみよう」



▲社長の玉澤孝三さん。社長自身、大のラーメン好き。「食べれば、その麺がどういった原料でどうやってつくっているか、ほぼ想像できますよ」



◀1961年から2005年まで富士見通りにお店があった。創業者の故亀岡三枝子さんは通学路の子どもたちの人気者だった。
▶ラーメンだけじゃない。目下、売り出し中は「小麦と塩の生パスタ」。生パスタのもっちりとした食感を国産小麦、平飼いの鶏卵、伊豆大島の塩とすべて国産原料で実現した。「くにたち野菜 しゅんかしゅんか」(p8参照)で購入できる。



(上)税込340円・2人前

秋のくにたち

紅葉 もみじ ing Now

収穫の秋。読書の秋。食欲の秋。アートの日。
歩いて、見て、味わって感じる小春日和のくにたちのまち。

16 卓球用品専門店 多摩スポーツ

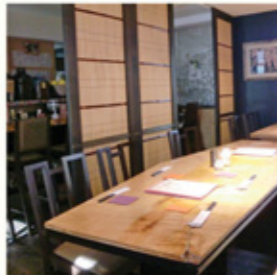


国立市北 1-12-2
[TEL] 042-575-4722
[OPEN] 10:00 ~ 19:00
[定休日] 月曜

開業 36 年の卓球専門店。店内には 130 種類以上のラバーやラケットがぎっしり。笑顔で迎えられ、お話しをするうちに卓球を始めたいくなる。「誰もが一度は経験がある卓球だが、力技だけでは勝てない奥深さがある」と店長の外谷直樹さんは言う。理詰めで戦術を考える頭脳も必要で、ラケットに貼るラバーにも専門的な知識が必要となるが、外谷さんは初心者への質問にも、高度な相談にも気軽に答えてくれる。

15 さくらさくら

その名の通りあちらこちらにさくらがあしらわれたリニューアルされたばかりの店内。全国から届く季節にあわせた食材を使ったお料理は品数も豊富でとにかく「おいしい!」と評判だ。オリジナル古酒酒盛「さくらさくら」をはじめ料理にあったお酒も充実。「私自身がお酒を飲みながらあれもこれも、といろいろ食べるのが好きで…」と女将さん。そんな想いこそお料理にぎゅっと詰まったおいしさの秘訣なのだ。



国立市東 1-1-26
[TEL] 042-575-5719
[OPEN] 16:00 ~ 23:00
(L.O.22:30)[定休日] 日曜

14 ノイ・フランク

店頭に並んだ種類豊富な手づくりのハム、ソーセージは本場ドイツの味。内容や食べ方を聞きながらソーセージ 1 本、ハム 1 枚からでも買うことができ、併設のレストランでは世界中のビールと一緒に楽しめちゃう。そんなノイ・フランクでは 10 月末までオクトーバーフェスタを開催中! 10 種類以上のドイツビールがどれも 15% オフでいただける。秋限定メニューと合わせて自分だけの組み合わせを見つけよう。

国立市東 1-14-17 [TEL] 042-576-4186
[OPEN] 10:00 ~ 22:00 (日・祭日 21:00)
[定休日] 第 3 水曜日

09 やさいと喫茶 MOROGORO

国立駅北口の長い坂を登り切ったそこに、国立市の谷保の農家の直売所「MOROGORO」がある。店先には採れたての季節野菜が並ぶ。どれもピカピカで、八百屋さんでは見えないような珍しいものも。店内では畑で取れた野菜を使ったランチ (600 円)、そして手づくりのお菓子も常時 2 ~ 3 種食べられる。所々に飾られた植物、優しい味の料理、そして穏やかな店主・三田栄美さんとのひと時は、肩の力がずと抜けてついつい長居してしまう。



国分寺市富士本 1-22-3
国分寺ヴィレッジ富士本 102
[TEL] 042-573-1788
[OPEN] 10:00 ~ 18:00
[定休日] 不定休

10 暮らしのアートギャラリー KUNITACHI

イチョウ並木の大学通りをちょっとわき道に。閑静な住宅街の中にある 7 坪ほどの小さなギャラリーに、大学通りの風景や植物がテーマの、作家オリジナルの作品や雑貨が「くにたち大学通りコレクション」として並んでいる (トートバッグ 1,800 円、カトラリーレスト 840 円、季節の草花の蓋物 2,100 円など)。この売り上げの一部は、大学通りの美観を守る「くにたち桜守」に寄付される。



国立市中 2-18-36 [TEL] 042-505-5702 [OPEN] 12:00 ~ 19:00 [定休日] 月・火曜

11 「帽子作家 関民 Tami's Spirit」

昨年暮れに、91 歳で旅立たれた関民さんの、帽子にまつわる物語をまるで写真集のように綴った書籍が出版された。著者は、亡くなる 2 日前までレッスンを受けていた愛弟子の更谷いづみさん。仕事の流儀や哲学をリズムよく紡ぐ民言葉は読み手の心を寛沢にする。撮影場所は全て国立の街にこだわった「国立本」でもある。帽子アトリエ関民は現在クローズ中だが、更谷さんへのオーダーは今秋より再開している。詳しくは <http://www.izumaqui.com> (☎ 050-3794-4048)



Tami's Spirit 著者 更谷いづみさん



「Tami's Spirit」は東西書店、増田書店で、1,575 円で取り扱っている。

出立途中の中央線で、中吊り広告を見上げたのがはじまりだった。森永乳業の「賢沢妄想コンテスト」に応募しプレゼンと面接をクリア、見事、出版に必要な賞金 100 万円を手に入れたのだ。とはいえ本を書くのは初めて。原稿はもろもろ撮影からレイアウトまで、民さんをはじめいろいろな人のアドバイスを吸収しながら夢を実現した。更谷さんは現在「izumaqui」(イズマキ)のユニットを組み、帽子やペーパーアイテムなどのグッズを Web 販売している。民さんからあずかった情熱は今も健在だ。



秋の大学通り
3つのお祭り一斉開催!
11月4日(金)~6日(日)
天下市(商業祭)・一橋祭(学園祭)
11月6日(日)
秋の市民まつり
(市民祭・パレードあり)

谷保天満宮 おかから火
11月3日(祝)18:00-
関東の奇祭の一つである火祭り。

- P1-2 くにたちイタリアフェア
- P3 ニャン太東へ西へ
- P4 ゆかりのアーティスト
- P5-6 みどころMAP
- P7 くにたち情報スクラブ
- 公園
- 郵便局
- 読者プレゼントあり

12 CAFE&BAR ELK

ログハウス調の木のぬくもりが心地よい ELK。天窓から差し込む光の下でのランチから、パーティムには中庭で一杯、といろいろな顔をみせてくれる。人気メニューのチーズケーキは毎回違ったフレーバーで、次の来店が楽しみになるイチオシスイーツ。カナダの寿司店勤務という経歴をもつ主人の変わり種 SUSHI ROLL がまた絶品。国立では珍しいカナダビールと一緒に味わえる。お腹をすかせて立ち寄りた。



国立市中 1-15-5
[TEL] 042-572-0543
[OPEN] 11:30 ~ 23:00
(水・日曜は ~ 21:30)
[定休日] 月・火曜

13 深川つり舟

多いときで一日 30kg の米を炊くという大盛りの店。御飯とみそ汁はおかわりが自由とあって、次々と来店するのは食欲旺盛な若者たち。丼ぶり一杯が約 1 合、これを 4 ~ 5 杯平気で平らげる強者もいるとか。マグロ、ハマチ、サーモン、ホタルイカが豪快に華開く海鮮丼 (1500 円) は、希望すればご飯と別盛りにしてくれる。一杯やりながら楽しむには文句なしのコストパフォーマンスだ。女子やキッズは「みに丼」をどうぞ。

国立市東 1-15-18 白野ビル 2F
[TEL] 042-576-9910
[OPEN] 11:30 ~ 14:00
17:00 ~ 21:00
[定休日] 日曜



大衆演劇
橋菊太郎劇団
くにたち公演

観客と演者の距離が近く一体感を味わえる大衆演劇が、くにたち市民芸術小ホールにお目見えます。舞台に立つ橋菊太郎劇団は、創立して



【日時】2011年 11月30日(水) 13:30~(開場13:00) MAP-17
【会場】くにたち市民芸術小ホール ※専用駐車場がないので公共交通機関をご利用下さい
【チケット】自由席 2,000円(友の会1,800円) 指定席売り切れ
【協賛】谷保駅北口商店会、国立せきやビル
【チケット取り扱い場所】
くにたち市民芸術小ホール ☎042-574-1515
しまだ文具店 ☎042-576-4445
白十字国立南口店 ☎042-572-0416

くにたちニュースをピックアップ!
くにたち情報スクラップ

よそ50年の歴史ある劇団です。三代目の若座長・橋大五郎さん(写真)はテレビドラマにも出演するなど活躍中。天才女形との呼び声が高く、北野武監督の映画「座頭市」では、芸者姉妹の妹・おせい役として銀幕を彩りました(おせいは実は妹ではなく、女装した弟の清太郎)。お芝居を楽しみ、お花(ひいきの役者)にあげるご祝儀を渡したり、大衆演劇をめいっぱい楽しめる一日です。今回は龍美麗さんと南條影虎さん小林真さんも同じ舞台に出演、美形4座長が大活躍します。

国立ようこそプロジェクト

谷保天満宮の梅林に住む梅の精・梅子ちゃん。国立に避難されている皆さんを歓迎します!(キャラクターデザイン・国立歩記デザイナー坂東真奈)。このプロジェクトは国立に避難されている東日本大震災被災者の方へ心からの歓迎を表すもの。参加方法は、梅子ちゃんポスターを軒先に貼るだけです。



【詳細】http://kunitter.com/k4t/yokoso/
【問合せ】国立市産業振興課(ポスターも配布中)

郷土文化館秋季特別展
閑頑亭 ~谷保から国立へ~



谷保・国立が生んだ稀代の芸術家・閑頑亭さんの作品を集めた展示がくにたち郷土文化館で開催中。彫刻、絵画などの作品が並ぶ、現在92歳の頑亭さんの人生を表す展示会です。国立歩記から無料入場券をプレゼント! 下のしゅんかしゅんかで1,000円以上お買い上げの方に先着順です。

MAP-18

【会期】10月8日(土)~11月13日(日) 【開館時間】10:00~17:00(入館は~16:30)
【休館日】10月27日、11月10日 【観覧料】一般500円(中学生以下、しょうがいしゃとその介護者は無料) 【問合せ】042-576-0211(くにたち郷土文化館)

備えておきたい!
災害対応のイロハ

東 日本大震災の義援金として、みなさまから市役所にお寄せいただいた金額は現在、2,190万4,276円です(9月27日現在)。ご協力誠にありがとうございます。しかし復興までの道のりはまだ途中です。義援金の募集は継続しています。また、震災に対する日頃の備えをお忘れなく。食糧・飲料の備蓄、防災訓練、震災が発生したときの

立ち居振る舞い。しっかりと身体にしみ込ませることで、家族の安全を守りましょう(協力:国立市役所防災課)。

「そもそも防災について何を学べばいいの?」「どこで教えてくれるの?」とお困りの方もたくさんいらっしゃいます。その力強い味方が、立川消防署の隣にある「立川防災館」です。巨大地

震に遭遇した一家の仮想現実ドラマを観覧できる「防災ミニシアター」や、AED(自動体外式除細動器)の取扱い方法も勉強できる「応急救護訓練室」など、全部で5つの体験アトラクションがあります。約3時間のコースで、災害とはどういったものか、どのような対処をすればいいのか、基礎から防災のことを学べます(協力:立川消防署)。

立川防災館
【住所】立川市泉町1156-1
【問合せ】☎042-521-1119
【開館時間】9:00~17:00(入館は~14:00)
【休館日】毎週木曜、第3金曜(国民の祝日にあたる場合は直後の平日)および12月28日~1月4日
【交通】JR立川駅北口(1番乗り場)よりバス乗車、「立川消防署」下車すぐ/多摩都市モノレール「高松駅」より徒歩15分
【駐車場】あり(台数に限りがありますので公共交通機関をご利用ください)



国立市ガイドブック
国立市観光まちづくり協会
おさんぽノートvol.2
国立市観光まちづくり協会・国立市が発行するガイドブック「くにたちおさんぽノート

vol.2」が完成しました! 11月6日に行われる秋の市民まつり会場で無料配布開始です! またおさんぽノートに載せきれなかった国立市の観光情報やイベント情報は、国立市の総合ポータルサイト「くに

たちインデックス」(http://kunimachi.jp/)に随時掲載されているので、お出かけ前にぜひインターネットでチェックしてみてくださいね。



vol.2

くにたち野菜 しゅんかしゅんか 便り



その日に採れたものをその日に食べる
そんな当たり前を



鮮度が自慢の「しゅんかしゅんか」、野菜集荷は1日に2回。「朝どれ」にこだわると、朝一番の集荷では野菜の準備が間に合わなかった野菜を集荷のため、11時ごろに2回目の集荷をしています。野菜以外にも卵・豆腐は新鮮なものを自分たちで取りにいくので、卵・豆腐も新鮮そのもの! 鮮度を大事にするため、夕方に残っている野菜はタイムセールを行うこともしばしば。それでも売れ残ったお野菜は翌日のセール品に。鮮度にここまでこだわるのは、鮮度によって味・栄養価は大きく変わるから。くにたちの畑で実っている野菜。栄養たっぷりでおいしい、新鮮なうちに食べてください!

- 店長 渋谷祐輔
- しゅんか しゅんかのとある1日
- 07:30 お店をミニバンで出発
 - 08:00 日野の由木農場さんで「前日うみたて卵」を集荷
 - 08:15 日野の三河屋さんで作りたて豆腐とうの花ドーナツを集荷
 - 08:30 国立の農家さんを回ってお野菜集荷
 - 09:30 お店に到着。ラベルを貼って陳列
 - 10:00 お店オープン!
 - 11:00 野菜集荷2回目。1回目の集荷時に準備が間に合わなかった野菜を集荷
 - 12:00 お店に到着。野菜が全部そろそろ
 - 18:00 残っている野菜や豆腐があればタイムセール開催も?!
 - 19:00 閉店

●くにたち野菜 しゅんか しゅんか
旬のくにたち「採れたて」野菜を農家さんから直接お届け。毎日変わる野菜の表情をお伝えします。野菜と合わせておいしい、こだわり食材を随時入荷中!
住所: 国立市中1-1-1中一マンション101(国立駅徒歩4分)
HP: http://www.emalico.com/shunka/
E-mail: shunka@emalico.com
Twitter: shunka_shunka

MAP-19

ローマ皇帝ネロと愛人ポッペアとの不条理な愛のドラマ。バロック音楽の権威、磯山 雅教授のプレトークもお楽しみに。

MAP-20

第20回 くにたち兼松講堂 音楽の森コンサート 特別企画

兼松講堂ホール・オペラ(字幕付き)
モンテヴェルディ ポッペアの戴冠
~渡邊順生/サントリー音楽賞受賞記念~
2011年11月27日(日) 【開演】午後2時(開場1:30 終演予定5:45/休憩2回)
【会場】一橋大学兼松講堂(JR国立駅南口徒歩7分)

指揮・リュート・チェンバロ 渡邊 順生 管弦楽 ザ・バロックバンド(ピリオド楽器使用)
お話 磯山 雅(国立音楽大学教授) 歌手 国立音楽大学ドクターコースの皆さんほか

【前売券】S席5,000円(指定)、A席4,000円(自由)、学生券1,500円(自由) 【当日券】各500円増し
未就学児童のご入場、お車でのご来場はご遠慮下さい。
車椅子でご来場の方は、予めご一報下さい。(TEL.090-8495-4582)

【チケット販売】 各所にて公演パンフレットを無料で配布中。
一橋生協(西ショップ) 「白十字」南口店
国立楽器国立店 くにたち市民芸術小ホール
リストランテ「国立文流」 富士見台とれたの
CNプレイガイド ☎0570-08-9990
東京文化会館チケットサービス ☎03-5685-0650

【お問合せ・予約】
コンセル・プルミエ
☎042-662-6203
(月~金10:00~18:00)

【主催】ボランティア・チーム如水コンサート企画 【後援】如水会、国立市、国立市教育委員会ほか

渡邊順生 指揮・チェンバロ
わが国の代表的なチェンバロ・フォルテピアノ奏者/指揮者。一橋大学卒業後、アムステルダム音楽院首席卒業。その深い音楽性と繊細な感受性、円熟した演奏活動が高く評価されて、2010年度サントリー音楽賞受賞。桐朋学園大学、東京音楽大学、国立音楽大学及び上野学園大学講師。



(株)国立楽器
国立音楽センター
せきやビル7F / tel.042-576-1213

三人四脚で
いっしょに成長。



ジャック幼児教室研究所 国立教室
せきやビル4F / tel.042-573-6880

大人のための
音楽発表会。

「やってみたいけど今から楽器なんて…」というあなた。国立音楽センターにはピアノにバイオリン、トランペットからくちぶえまで大人のための音楽スクールが実にたくさんあります。「学生時代を思い出して」という方から「まったく初めて」という方まで経験問わず始められるのが魅力。定期的に行われる大人の発表会では、練習の成果を披露するチャンスも。この秋から発表会を目指して音の世界に足を踏み入れてみては?



ジャックで取り組む受験は「お父さん、お母さんと三人で力をあわせて」がモットー。私立幼稚園や小学校の中で切磋琢磨しながら大きく育っていくための大切なステップにあるお子様だけでなく、ご両親にも新しい自分の一面に触れられるかけがえの無い時間になるはず。最近では受験を通してわたしも変わった!というお父様の声もよく聞かれます。11月からは新年度がスタート!併せて見学・体験も随時受付中。幼稚園受験への講習会も開催中です。参加希望の方はお早めのお問合せを。

SEKIYA PRESENTS

心を耕す

カルチャーの

世界へようこそ

文化と教養に触れて自分新発見。
ほら、世界が広がる音がする。

文化や教養を意味する「culture-カルチャー」。語源を紐解くと「心を耕す」というラテン語がみつかります。実りの秋に、新しいカルチャーにタッチ。内側から、心を耕す。体験を探しにでかけよう。

草木に触れて
季節を楽しむ。

「コンテナガーデンを楽しむ」
今井政代先生

「植物には人と人をつなぐ不思議な力があります。」と今井先生。四季折々の植物と触れあうことで穏やかな心持ちになれるのです。講座にメインで使われるバラには、その香りが心を整え、心臓や血の巡りにまで効果が。付き合うに連れて心にも体にも変化が現れるそう。コンテナガーデンはマンションなど少しの場所でも扱いやすいから初心者にも安心。出来上がった作品を持ち帰って、植物とともに過ごすやさしい毎日を。

▶第3木曜日13:30~15:30(10/20 から)

気軽に楽しく、
一日体験できっかけ探しも。



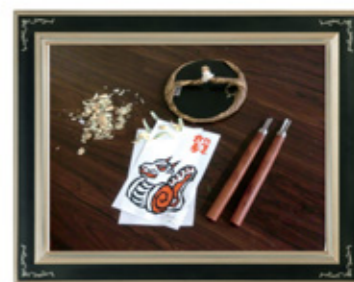
「はじめてのカラーセラピー」
佐藤幸恵先生

カラーセラピーとは、例えばぬり絵の色具合やカラーオーナメントの組み合わせで、その時々々の心理や潜在意識を読み取れるすごい技術。結果を実生活にフィードバックして癒しや元気のもとに!

▶11/29(火)13:00~15:00



NHK学園
くにたちオープンスクール
せきやビル6F / tel.042-574-0570



「やさしい木版画~年賀状を作ろう」
木下泰嘉先生

新年のご挨拶に心こもった手作り年賀状を贈ってみませんか? 木版画の味わいのある絵柄に個性が光ります。下絵は先生が用意してくれるから安心。もちろんオリジナルに挑戦もOK!

▶11/29(火)13:00~16:30

くにたちボージョレ ヴィラージュ ニューヴォー 2011
Kunitachi Beaujolais Villages Nouveau 2011

良いワインは良い葡萄から。

今年もおいしいボージョレ・ニューヴォーの季節がやってきました。オリジナルラベルで限定1,200本。売り切れにご注意ください。ただいま予約受付中。

店頭ご予約特価 2,280円(税込)
限定1,200本 ※ご予約期限 11/6(日)まで
通常販売価格 3,500円(税込)



ドメーヌ・ド・ボワシャン(生産者:写真左)

Domaine de Boischamp

名家「デュボンファミリー」のドメーヌ(自らの畑で栽培から醸造まで手がける生産者の呼称)。標高が高く日当たりのよい斜面で、花崗岩にシスト(片岩)や鉄分を含む硬い土壌に育つのは、小粒で凝縮した果実。良いワインは良い葡萄から実践し、手作業で丁寧に畑の管理、収穫を行っています。上質でエレガントな酸味と、新鮮味溢れる甘やかな香りをお楽しみに。

くにたち2011 オリジナルラベル

今年、本誌特集ページでご紹介したヨーロッパで注目されるフィリップ・ジョルダノさんが描いたオリジナルラベル。国立の街の風景が織り込まれています。

●ボージョレ・ニューヴォーとは?...フランス・ブルゴーニュ地方、ボージョレ地区で収穫されたブドウ[ガメイ種]を用い、50日あまりの短期間で製造される赤ワインの新酒。11月の第3木曜日が解禁日。豊かな秋の恵みの象徴として、世界各地で、新酒の味を楽しむお祝いがあります。

せきやボージョレ・ニューヴォー・パーティ開催!

【会場】エソラホール(国立せきやビル7F)【日時】2011年11月17日(木)19:00~20:30(18:30開場)

【参加費】¥3,500(税込)予約定員制60名※詳しくは店頭またはお電話にてお問合せください。☎042-571-0001



C'est la Vie
SAKE-BOUTIQUE
SEKIYA
Depuis 1910

株式会社せきや
国立市中1-9-30 [TEL]042-571-0001
【OPEN】10:00~21:30(1F)
11:00~20:00(B1F)